

センター便り

〒601-0715 京都府南丹市美山町下宮ノ上ミ14-1
山村留学センター「四季の里」
TEL: 0771-77-0232 FAX: 0771-77-0279
E-Mail: miyamasanryu@cans.zaq.ne.jp



一月九日、冬休みを家族と一緒に過ごした山村留学二十五期生七名が元気にセンターに帰って来てくれました。
残念ながらセンター周辺を見回しても、子供たちが楽しみにしていた雪を見ることは出来ませんでした。二週間センターから離れていたとは思えないほどすっかりなじんでいます。子供たちにとっても後三ヶ月足らずの山村留学生活です。美山の冬をおもいっきり楽しんでほしいと思います。

明けましておめでとうござ
います
本年もよろしく
お願い致します



冬休みの思い出と三学期の目標

- 木全進太郎・・・イオンで愛知県知事(大村さん)に会って一緒に写真を撮ってもらったこと。
お正月にカニを食べたこと。オガシンの家で遊んだこと。
三学期は相手の言う事を良く聞く。みんなと仲良くする。雪遊びをいっぱいする。
- 小川慎太郎・・・川に釣りをしに行ったが一匹も釣れなくて残念だったこと。
宿題に追われていたこと。
三学期は六年生を送る会でみんなを楽しくさせられるような会にしたい!
国語と算数を特に頑張りたい!
- 柑本 奈穂・・・家族で福井県のスキージャンプ勝山に行ったこと。最初は滑るのが怖かったけど、帰る日になると速く滑れるようになりました。
三学期は漢字検定で合格出来るように勉強する。
- 岡部 朱甫・・・母と「雀の戸締り」の映画を見に行って、背景がとても綺麗だったこと。
母とキューズモールに服を買いに行ったこと。
三学期は縄跳び100回とぶことを早く終わらす。早くご飯を食べること。
- 窪田 蓉子・・・お父さんと版画教室に行ったこと。家族で松竹新喜劇を見に行ったこと。
三学期は漢字検定に合格すること。漢字をきれいに書く。しっかり復習する。
本をたくさん読む。嫌いな教科でも全力で勉強すること。
- 乾 今日佳・・・姫路の科学館へ行き色々な実験をしたこと。特に雲を作る実験を頑張りました。
三学期は「積極的に色々な事にチャレンジする」を目標に頑張ります。
ケンカをしないようにかんばります。
- 徳岡 潤佳・・・茨木のじいじ、ばあばの所で餅つきをしたこと。納豆もちが美味しかったです。
畑に行って色々な作物を収穫したこと。紫色のジャガイモにビックリしました。
三学期は漢字大会・計算大会で100点が取れるように習った漢字を覚え、算数はプリントなどをして覚える。

2学期朝マラソン優秀者等の表彰



1月10日、3学期始業式を終えてセンターに帰ってきた子供たちに2学期朝マラソン優秀者と、昨年に続き令和4年の一年間の台風の発生数予想の優勝者の表彰をしました。マラソンはキマシン・オガシン・シュホ・キョウカの4名が受賞し、台風の発生数はギリギリまでキマシンの予想した24回だったのですが、12月11日に新たな台風が発生し、ジュンカが25回とズバリ当てて優勝しました。3学期は雪の影響で走る機会が減りますがみんなに頑張ってもらっています。



とんど焼き



1月15日、今年も地域で行われた「とんど焼き」の行事に山留生たちも参加させてもらいました。この週末から急に気温が上がって昨年とは打って変わって雪は全くありません。それに小雨が降るといった悪天候の中のとんどになりました。それでも子供たちは用意していた書初めを何枚か持って来て澤田さんにとんどの炎の上にかざしてもらい、燃えた書初めが高く天に昇って行くのを目で追っていました。書初めを燃やした火が高く上がると字が上手になるとか、とんど焼きの火で焼いたおもちを食べて一年の無病息災を願ったりとか、本来の意味は全然理解してなくても、とんどの残り火で焼いてもらったおもちに砂糖醤油をたっぷりつけて食べることは決して忘れることはなく、みんな美味しそうに食べていました。

待望の雪遊び

1月21日、子供たちが待ちに待った雪がセンター周辺に積りました。夕べから降っていた雨が夜になってからに雪に変わったようで、今朝は5cmほどの雪積がありました。朝から宿題をしていた子供たちですが、少しずつ溶けだした雪を見て、「もう待てない」と、スキーウェアに着替えて外に飛び出して行きました。いきなり雪合戦の始まりです。「雪合戦をしたことない」という子供もいるくらいで、美山の冬にしては少ない雪の中でも楽しそうに思いっきり遊んでいました。来週はこの冬一番の寒波が来るそうで、いよいよ本格的な雪の予感です。みんな首をながくして待っています。でも、降りすぎるのも「ちょっと」です。



お母さんの一人言

暖冬の年明けとなりました。

3学期が始まり子供達そろって毎日元気に過ごしています。残す所本当に後しばらくとなくなってしまいました。縁あって共に暮らした仲間と、一つでも多くの思い出を作ってもらいたいと願っています。